

令和元年度第1回境港市総合戦略推進会議録

日 時：令和元年9月3日（火）14：00～14：55

場 所：境港商工会議所 大ホール

出席者：別添のとおり

傍聴者：3名

日 程：

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 委員紹介

4. 協議事項

(1) 平成30年度における地方創生の取組実績について

- ・【資料①】境港市の人口動向（平成30年）
- ・【資料②】境港市総合戦略「平成30年度の取組実績」
- ・【資料③】施策の取組状況及びKPIの進捗状況
- ・【資料④】具体的施策の取組状況
- ・【資料⑤】国交付金を活用した平成30年度実施事業の効果検証

(2) 「第2期境港市総合戦略」の策定について

- ・【資料⑥】「第2期境港市総合戦略」の策定及び「境港市人口ビジョン」の改訂に係る推進体制について
- ・【資料⑦】「第2期境港市総合戦略」の策定及び「境港市人口ビジョン」の改訂に係るスケジュールについて
- ・【資料⑧】まち・ひと・しごと創生基本方針2019（概要）
- ・【資料⑨】「第2期境港市総合戦略」に新たに盛り込む施策について（案）

5. その他

6. 閉 会

1. 開 会

（事務局）

皆様、本日はご多忙の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。只今より、「令和元年度 第1回 境港市総合戦略推進会議」を開催いたします。私は、事務局をしております地域振興課長の沼倉と申します。よろしくお願いたします。

本推進会議は、平成27年度に発足し、同年に「境港市総合戦略」を策定いたしました。引き続き、この会では、毎年度「総合戦略」の効果検証を行い、ご意見をいただき、必要に応じて改訂を行ってまいりました。

また、本年度は「総合戦略」の期間の最終年度となっておりますので、「第2期境港市総合

戦略」の策定に向け 計4回の開催を予定しております。ご公務ご多忙かと存じますが、委員の皆様には、ご協力方、よろしくお願いいたします。

初めに、配布資料の確認をいたします。事前に送付させていただいておりますが、「式次第及び委員名簿」、右上に示しておりますが、資料1から資料9までの「資料」と、番号は付けておりませんが、「境港市総合戦略【平成30年9月改訂】」です。

また、本日、「出席者名簿」、「配席表」、「境港市総合戦略推進会議設置要綱」、「資料正誤表」、「境港市総合戦略に盛り込む施策の提案について（お願い）」を机上配布させていただいております。全てお揃いでしょうか。不足の資料があれば、お知らせください。

それでは次第に従いまして、はじめに、境港市地方創生推進本部 本部長 中村市長よりごあいさつ申し上げます。

2. 市長挨拶

(市長)

「令和元年度 境港市総合戦略推進会議」の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、大変ご多忙のところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃から市政各般にわたりご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本年度、新たに委員への就任をお願いしました方におかれましては、快くお引き受けいただき、重ねてお礼申し上げます。

さて、先ほど、事務局の方からも説明がありましたが、平成27年に、この会議で検討を重ね策定した「境港市総合戦略」であります。本年度が対象期間の最終年度となります。

国においては、地方創生に係る施策の方向性を示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の第2期の策定に向け、新たな視点等を盛り込んだ基本方針を公表したところであり、本市においても、これから次期総合戦略の策定に取り組んでいくこととしております。

策定にあたりましては、様々な角度から、委員の皆様にご議論いただき、しっかりとした戦略にまとめあげていきたいと考えておりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日は、国の基本方針や策定に向けたスケジュール等をご説明した後、新たに盛り込む施策等の意見交換を予定しております。皆様には、それぞれの活動、お立場などからの忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

3. 委員紹介

(事務局)

ありがとうございました。

次第3「委員の紹介」でございます。本日配布いたしました、「出席者名簿」「配席表」をご覧ください。現委員の任期は、令和3年3月31日までとなっておりますが、役員交代等で、新たに8名の方に、委嘱をさせていただいております。本来であれば、委嘱状を直接お渡しすべきところですが、席上に配布させていただいております。ご了承いただきますようお願いいたします。

本日は、7名の委員より、ご欠席のご連絡をいただいております。ご出席いただきました委員の皆様のご紹介は、誠に恐縮ですが、配席表の配布をもってかえさせていただきます。

なお、県の地方創生コンシェルジュ・境港市を担当いただいております鳥取県西部総合事務所 地域振興局 西部観光商工課の八幡課長様にはオブザーバーとして、ご出席いただいております。よろしくお願いいたします。

ここで市長は、所用により退席いたします。

それでは、推進会議設置要綱第6条の規定により、本推進会議、梶田会長様に、これ以降の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(会長)

ただいまご紹介にあずかりました観光協会の梶田です。お忙しい中、多数ご参集いただきまして、私の方からも厚くお礼申し上げます。

本日の会議時間は、1時間半から2時間を目途に進行してまいりたいと考えておりますので、何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

では、さっそく議事を進めさせていただきます。

次第4「協議事項」に入ります。まずは、「(1)平成30年度における地方創生の取組実績について」事務局の説明をお願いします。

4. 協議事項

(1) 平成30年度における地方創生の取組実績について

(事務局)

着座にて失礼します。「平成30年度における 地方創生の取組実績について」資料①～⑤で説明いたします。

「資料正誤表」のとおり、4点の訂正がありました。お詫び申し上げます。

※事務局注…掲載資料は修正済み

では、(資料1)境港市の人口動向(平成30年)をご覧ください。平成27年の国勢調査をもとに、人口動態により推計される平成30年10月1日時点の推計人口は、33,144人となり、前年より287人減少しています。年齢3区分別に見ると、15～64歳の生産年齢人口及び0～14歳の年少人口は右肩下がりが続いている一方、65歳以上の高齢者人口は右肩上がり続き、少子高齢化が進行している状況であります。また、下段にあります自然動態につきましては、出生数は227人と減少しましたが、死亡者数も、やや減少し451人となったため、昨年と同じ224人の減となっております。

2ページには、参考として、女性人口の推移を掲載しておりますが、合計特殊出生率の母数となる人口(15～49歳)、そして若年女性人口(20～39歳)ともに年々減少しております。

2ページ下段にあります社会動態につきましては、平成25年以降は社会減が続いておりますが、平成30年は、転入数が昨年と同じ1,268人でありましたが、転出数が、1,341人と減ったことから、減少幅は、若干小さくなりました。

参考として、3ページ下段には、鳥取県内地区別の転入超過数を、また、4ページには地域別・年齢別の転入超過数を掲載しております。

続いて資料2～4に基づき、総合戦略「平成30年度の取組実績」について説明させていただきます。（資料2）境港市総合戦略「平成30年度の取組実績」をご覧ください。平成27年度に策定しました境港市総合戦略の中の、3つの基本目標に対して、計画最終年度である令和元年度（2019年度）の目標数値に対する平成27年度から30年度の実績数値を記載しております。

順調に進んでいる項目、また進捗が不十分な項目もありますので、引き続き目標値達成に向けて取り組んでまいりたいと思います。

また、裏面 施策に係る目標値（KPI）の進捗状況につきましては、総合戦略の各施策に対して、36項目のKPIを設定し、KPIごとの進捗状況をA～Dの4段階で評価しております。

ただし、「漁業所得」については、現在のところ未公表となっておりますので、35項目の評価となっております。基本的には、基準値から5年後の目標値までの伸展を5で割って1年分の伸展に換算し、平成30年度の伸展が、目標値の4年分の伸展に対してどの程度達成したかで評価しております。

なお、この評価については、あくまで数値目標の評価であり、4年間で成果を出しづらい施策もありますので、評価が低いものは、必ずしも取組が不十分であるというものでもありません。

A：すでに達成しているKPIが10項目、

B：順調に進捗しているKPIが10項目、

C：進捗がやや不十分 及び

D：進捗が不十分なKPIをあわせて15項目でした。

なお、例年ですと、A評価となった項目については、目標値を上方修正する提案をしておりますが、今回は、事業実施期間が残り1年しかないことから、修正の提案は行わないこととしております。

35項目のKPIについて、それぞれ内容を「資料3」にまとめておりますので、ご覧ください。（資料3）施策の取組状況及びKPIの進捗状況ですが、すでにKPIを達成している10項目及び進捗が不十分な3項目について、説明させていただきます。

KPIを達成している10項目のうち、まずは、1ページ上段の「ビジネスマッチング商談件数」です。これは中海・宍道湖・大山圏域市長会事業として、毎年「ビジネスマッチング商談・展示会」を開催しており、販路拡大・共同開発・業務提携などを促し、圏域経済の活性化を図るものです。累計2,349件となり、目標値の1,800件を超えました。

次に、下段の「新規就農者」及び「新規漁業就業者」数です。新規就業環境の充実に支援する取組により、それぞれ、目標を達成いたしました。

2ページ上段の「起業・創業支援件数」につきましては、相談対応を含む累計が、127社となり、目標値を超えました。これは、西部9市町村において「創業サポートセンター」を設置するなどの、支援体制の拡充を図ったことが、功を奏したと考えております。

続きまして、3ページ上段「クルーズ客船寄港年間外国人観光客数」につきましては、5.23万人となり、目標値の5万人を超えました。これは、官民挙げてのクルーズ客船の誘致活動や

おもてなし対応が評価され、クルーズ客船の年間寄港数が伸びたことによるものです。

また、「国際線利用者数」につきましても、10.4万人となり、目標値を超えました。中海・宍道湖・大山圏域市長会インバウンド機構や山陰インバウンド機構の設立も大きな要因と考えられます。

4 ページ下段、「移住・定住者数」につきましては、606人と、目標値を超えました。「さかなと鬼太郎のまち境港市」の認知度と共に、「安心して住みよいまちづくり」「子育てするなら境港」といった市の施策も浸透された結果ではないかと考えております。

5 ページ下段の「不妊治療後の母子手帳交付者数」も、目標値の20人に到達し、A評価となりました。不妊検査費については、市単独助成も行ったことにより、支援制度の利用者も増加しております。

「児童クラブ受入児童の拡大」につきましては、7 校区全てで、6 年生までの拡充が実施されております。

7 ページ「圏域での外国人宿泊数」につきましては、14.7万人となり、目標値を超えております。平成29年度実績時点ですでに目標値を超えておりましたが、圏域5市共通の数値としていることから、上方修正を行っておりません。

以上が、KPIを達成している10項目になります。

続きまして、D評価の3項目について説明いたします。戻っていただきまして、1 ページ「新商品開発支援件数」です。これは、水産加工大賞でのチャレンジ支援数を見込んだものでありましたが、隔年での開催となり、平成30年度は開催がなかったためです。

4 ページ下段の「市外在住者の定期借地権契約件数」です。市内の土地価格の下落や、下水道の普及により、坪数の小さい民地に新築される事例も増えてきているようです。

「健康シティ・夕日ヶ丘」や「定期借地権制度」の魅力を発信し、契約件数の増加につなげていきたいと考えております。

その下、「地域おこし協力隊員数」につきましては、平成29年度に3名の協力隊員の任期が終わり、新たに1名を任命しましたが、その後、新たな協力隊員を確保できておりません。引き続き、協力隊員の確保に向け、県外の移住イベント等でPRをしていきたいと考えております。

(資料4)は、具体的施策の取組状況 についてです。総合戦略に掲げております「具体的施策」について、それぞれ、平成30年度の取組実績 及び 令和元年度以降の取組(予定)を記載しております。説明については省略させていただきますが、目標達成に向け、最終年度となる令和元年度も取組を進めてまいります。

(資料5) 国交付金を活用した平成30年度実施事業の効果検証について説明させていただきます。国の交付金を活用し、平成30年度に実施した5事業の「事業概要」、「交付金額」、「KPIの実績」、「事業の効果」、「今後の方針」について記載しております。

5事業ともに、補助率1/2の地方創生推進交付金を活用した事業であります。

1「中海・宍道湖・大山圏域ブランド化プロジェクト」

2「中海・宍道湖・大山圏域のローカルToグローバルイノベーション事業」及び

4「中海・宍道湖・大山圏域インド人材確保・企業連携推進事業」は、中海・宍道湖・大山圏域

市長会での連携事業です。

また3「名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト」は、鳥取県西部での広域で連携した事業です。

5「山陰まんなかインバウンド推進プロジェクト」は、松江・出雲・米子・境港、4市の連携事業です。

それぞれ事業を令和2年度まで引き続き行ってまいります。

なお、中海・宍道湖・大山圏域市長会及び鳥取県西部での広域連携事業については、それぞれの組織において、「有識者会議」で効果検証を行っておられます。

説明については、以上です。

(会長)

それでは、只今の事務局より説明のあった境港市総合戦略の平成30年度の取組実績について、ご意見やご質問、今後もっとこういった施策に取り組んでいったらいいのではないかという提言などがあれば、ご発言いただければと思います。

また、せっかくの機会ですので、各委員の皆様が所属の団体で地方創生に関して、地域を盛り上げていくために、このような取組をしているといった事例があればご発言いただければと思います。

(委員)

資料1の人口動向ですが、4ページの地区別・地域別の転入超過者数、面白い資料だなと思って見させていただきました。東京に20代が出て行っているというのはその通りだなというのが分かりまして、その点において、Uターンのための施策が求められるかと思います。この中で特徴的なのが大阪府からの転入が30代で多くあります。これは何か要因が分かれば教えていただきたいのと、逆に、外国の方が多く転出しているのに要因がありましたら教えてください。

(会長)

事務局いかがですか。

(事務局)

大阪の方からの転入については、現時点でしっかりとつかみ上げていないところですが、追跡調査ができれば確認したいと思います。外国人の転入については、技能実習生の関係だと思えますが、調査のタイミングでたまたま転出のほうが多くなったのかなと感じるところですが、確認はできておらず、個人的な見解というところになります。

(会長)

はっきりは分からないと。

(委員)

追跡調査をしていただいた材料になるようなことがあれば活用いただければ。

(会長)

追跡調査は難しいかもしれませんね。そのほかありませんか。

(委員)

資料3の4ページ「市外在住者の定期借地権契約者件数」ですが、達成度合いが不十分ということですが、市だけでなく、民間との連携はしておりませんか。例えば、市が業者に手数料を払って、市外から業者のところに来た方に夕日ヶ丘のことを紹介してもらうとか。そういった形で民間の活力を使っていくと数字も伸びていくのかなと思います。

(事務局)

おっしゃられたような不動産会社へのPR・斡旋において、手数料・仲介料というのは支払っておりません。ただ、チラシなどを作ってPRに努めていただくようご協力依頼のほどはしているところです。

(会長)

よろしいですか。はい。では、ほかにございませんか。

(委員)

資料3の誘致企業数ですが、どのような企業だったのでしょうか。本校の地元就職というところで聞いておきたいのですが。

(副会長)

資料4のほうに書いてあります。尾澤運送(有)、マックスバリュー西日本(株)。この2社だと思います。

(委員)

はい。分かりました。

(副会長)

すみません、自分が説明してしまっ。

ただね、商業店舗が誘致企業なのかというのは疑問視しているんですよ。雇用が増えますというけど、片方で雇用が死んでるんですよ。移動したりとかね。だから、全体的に雇用がものすごく増えるということであれば分かるのですが、実態調査をどれだけしているのか、あるいは、正規で雇用しているのか、パートで雇用しているのか、これも大分違ってくるので、分析してみ

ないと、こういう商業店舗を誘致企業と一概に言っているのか。ですので、去年は、コンビニも誘致企業に入れなさいと言った記憶があります。ちょっと、この点は再考してほしいなと思います。ないならないではないのですから。

(会長)

どこまで突っ込んだ取材ができるかということにもなる。細かいところを言ったらキリがないので、あんまりキリがない話はやめにしましょう。

意見がほかにならぬようなら、この議題についてはこれまでとし、次の議題に移りたいと思います。

それでは、「(2) 第2期境港市総合戦略の策定について」事務局の説明をお願いします。

(2) 第2期境港市総合戦略の策定について

(事務局)

「第2期境港市総合戦略 について」、資料⑥～⑨で説明いたします。

ご案内のとおり、現在の総合戦略は、今年が最終年度となっており、「第2期境港市総合戦略」の策定をいたします。

併せて、本日は資料につけておりませんが、総合戦略と同時に作成した「境港市人口ビジョン」についても、改訂を行うよう進めております。

(資料6) 「第2期境港市総合戦略」の策定及び「境港市人口ビジョン」の改訂に係る推進体制についてをご覧ください。第2期総合戦略の策定に当たっては、3つの推進体制で進めてまいります。まず、一つ目の推進体制が境港市地方創生推進本部です。構成は、市長・副市長・教育長・各部長・防災監・教育委員会事務局長となっております。

推進体制②は、推進本部の補助機関として設置するワーキングチームです。こちらは、総合戦略の施策に大きく関わる部署の課長で構成しています。

推進体制③が外部委員によって構成されるこの「総合戦略推進会議」となります。

(資料7) をご覧ください。「第2期境港市総合戦略」の策定及び「境港市人口ビジョン」の改訂に係るスケジュールについてです。

本日まで、境港市地方創生推進本部会議を6月20日に、境港市地方創生推進ワーキングチーム会議を7月8日と8月27日に開催しております。

また、中海・宍道湖・大山圏域市長会においても、8月22日に総合戦略推進委員会を開催しており、境港市からは、奥森委員・徳田委員に出席していただいたところです。

それでは、今後のスケジュールについて説明いたします。

本日は、第2期総合戦略に関して、意見交換をお願いいたしますが、時間に限りもございますので、一度持ち帰っていただいて改めて、意見照会をさせていただき、ワーキングチーム会議で検討したいと考えております。意見照会の方法については、このあと別の資料で触れさせていただきます。

9月下旬には、圏域市長会の総合戦略が策定される予定となっておりますが、少し先延ば

しになるようにも聞いております。

続いて、10月下旬には第2回の推進会議を開催し、委員からいただいた意見への回答や、ご意見を踏まえた事務局案を提案する予定です。この頃には、人口ビジョンの大まかなものが示される予定ですので、そちらも提示し、併せてご意見をいただきたいと考えております。

続いて、11月初旬には、第4回のワーキングチーム会議を開催し、推進会議で出た意見を踏まえて、総合戦略の素案を作成いたします。

下旬には第3回推進会議を開催し、ワーキングチーム会議で作成した素案について協議いただき、大方、取りまとめた形にしたいと考えております。

12月には、市議会に対し、総合戦略と人口ビジョン策定の進行状況について、報告し、30日間のパブリックコメントを実施します。

年明け、1月には、パブリックコメントへの回答を行い、本部会議を開催します。この1月の本部会議と2月の推進会議で総合戦略と人口ビジョンを固めます。今年度中には、「第2期境港市総合戦略」の策定と「人口ビジョン」の改訂を完了いたします。

続いて、（資料8）をご覧ください。これは、6月21日に国が策定した「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」の概要版です。これには、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けた、基本的な考え方と第2期の初年度に取り組む主な事項について記載されております3ページをお開きください。4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、この6つの「第2期における新たな視点」に重点を置いて施策を推進する。と、あります。もちろん、ここにあるすべての項目を境港市の戦略に落とし込むには難しい部分もありますが、一つの指標になるかと思っておりますので、ご紹介させていただきました。

なお、第2期総合戦略を策定については、国では、12月までに、鳥取県では、今年度中としております。

最後に、（資料9）「第2期境港市総合戦略」に新たに盛り込む施策について（案）をご覧ください。配布しております、「境港市総合戦略」と併せてご覧ください。「第2期境港市総合戦略」の策定にあたり、市の側から、一例として、示させていただくものです。

1つ目の案として、総合戦略の11ページ「＜基本目標①＞3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり」の「（2）観光の振興」「②外国人観光客の誘客促進」の成果目標の中に、新たに「水木しげる記念館外国人観光客数」をKPIとして設定するものです。

続いて、2つ目の案は、14ページ「＜基本目標②＞「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり」の「（4）移住・定住の促進」「①移住・定住の促進・情報発信の充実」の具体的施策の中に、新たに「将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大」をあげるというものです。

このように、第2期総合戦略については、既存の基本目標や その次の大項目は生かしつつ、現行の枠組みの中で、数値目標（KPI）や具体的施策を追加や削除していくという形を取りたいと思っております。

先ほどご案内した、意見照会の件ですが、今回は資料も多く、時間に限りもありますので、皆さまには後日、文書にて、新たに盛り込む施策について、ご回答いただきたいと思います。

本日、机上にて配布しました資料の最後に「境港市総合戦略に盛り込む施策の提案について（お願い）」という文書を付けております。回答様式をつけておりますので、先ほどお示した、体系により、ご意見をいただきますようお願いいたします。

また、回答様式③は、自由記述をしておりますので、忌憚のないご意見をいただき、第2期総合戦略を策定していけたらと考えております。よろしく申し上げます。

説明は以上です。

(会長)

説明は以上ですか。

(事務局)

事務局からの説明は終わりましたので、第2期に盛り込むことですか、第1期でやり残したことなどを委員の皆様からご意見を頂戴できたらと思います。その上で、足りないところは文書でお出しただけたらと思います。

(会長)

文書があるならそれだけでも良いのではないのでしょうか。何回も同じことを。項目も多いです。これにかかりつきりならすぐ意見も出せるかと思いますが。ただ、自分はこういう話をしたいんだということであれば聞いても良いですよ。

(事務局)

もし、よろしければ、各方面からご出席いただいている皆様ですから、お一人ずつでもご意見をいただけたらと思うのですが。

(会長)

それだけで2時間くらいかかりませんか。

(事務局)

大丈夫だと思います。

(会長)

ということだそうです。何かありますか。副会長いかがですか。

(副会長)

急に言われましても。この回答様式は全部書かないといけませんか。

(事務局)

それぞれの枠を記載していますが、「ここは」というところを記入いただければ。

(副会長)

要は自分が選んで良いわけですね。専門外のところもあるのでね。

(事務局)

大項目にこれを入れたほうが良いのではということがありましたら、自由記載に書いてもらえばと思いますので。

(委員)

メールで様式をいただければ、記入が楽なのですが。

(事務局)

メールにて様式を送らせていただきます。

(副会長)

もう一度、スケジュールを確認しますが、次回は11月にするのですか。

(事務局)

10月の最終週か11月の第1週に開催させていただきます。詳細は追って連絡させていただきます。

(会長)

今年は4回あるということですか。

(事務局)

今回を含めて4回ということになります。

(会長)

あと3回ということですね。多すぎではないでしょうか。

(事務局)

委員の皆様とやりとりをさせていただくことも考えておりますので。あと、3回開催させていただきます。

(委員)

回答の様式には「KPI・具体的な施策」とありますけども、KPIはどういったKPIを設定するかということと、どれくらいかという数値まで書くということですか。

(事務局)

KPIの数値については、委員の皆様の方で指標となる数値を持っているのであれば、表していただくことも可能かと存じますが、難しいようであれば、事務局の方で設定させていただいて、それに対してどうかというご意見をまた次の推進会議で頂戴できたらと存じます。

(会長)

KPIってのは重要評価ってことでいいですかね。

(副会長)

目標数値ですね。日本語で書いてくれればいいんですが。でも、これはなかなか難しいですよ。市民の代表である市議会議員のする仕事です。

(会長)

まだ何かありましたかね。今日は説明会ですね。

(事務局)

それでは、ご意見はメール等でいただくということでお願いいたします。

(会長)

それでは、あとは、事務局にメール等でご意見を送ってもらおうと。KPIについてはあまり深刻に考えないように。

(副会長)

市民の付託を受けた専門職がいますからね。

6. 閉 会

(会長)

それでは、これにて全ての日程を終了しました。スムーズな議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。

(事務局)

梶田会長をはじめ委員の皆様には、長時間にわたりご協議いただき、誠にありがとうございました。重ねてになりますが、次回開催は、10月の最終週、もしくは11月の第1週を予定しておりますが、詳細な日時や場所は追って連絡させていただきます。

また、先ほど、ご依頼申し上げた、意見照会については、9月17日(火)を〆切としております。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。これをもちまして、「令和元

年度境港市総合戦略推進会議」を閉会いたします。